

- ◇平成26年度主な事業と施策を紹介……………2面
- ◇休日保育事業を実施……………3面
- ◇西宮さくら祭のイベント参加者募集……………3面
- ◇固定資産税等各種制度紹介……………4面
- ◇スポーツセンター特集……………5面
- ◇「山東自然の家」夏休み期間利用申込……………6面

●発行(毎月10・25日) / 西宮市役所: 〒662-8567 六湛寺町10-3 ☎0798-35-3151(代表) ●ホームページ <http://www.nishi.or.jp/>
 ●編集/政策局市長室広報課 ☎0798-35-3400 ✉vo_kouhou@nishi.or.jp ●携帯サイト「ふるむ西宮」<http://www.nishi.or.jp/i/>



河野市長は、3月定例市議会初日に、平成26年度の市政運営の基本的な考え方と主要な事業や予算案などをまとめた行政方針を表明しました。

昨年、西宮市はまちづくりの基本理念である文教住宅都市宣言から50年を迎えました。新年度は、次なる50年に向けて力強く歩み出す大切な年であり、中間見直しを行った第4次総合計画の後半がスタートする年になります。

平成26年度行政方針 河野市長が表明 将来にわたり輝くまちへ

らにこの特性に磨きをかけ、個性的で魅力的なまちづくりを進めるために、新年度は次の取り組みを進めます。

阪神・淡路大震災から20年を迎えることから、震災の記憶を風化させないよう、震災の経験や教訓を後世に継承する取り組みを行い、防災意識を高めていきます。また、津波やゲリラ豪雨などに対応するため、防災センターや避難施設の整備と合わせ、南海トラフ巨大地震に備えた取り組みを進めます。

アサヒビール西宮工場の跡地活用については、基本協定に基づき、用地取得の本契約を締結し、中央病院や西宮消防署、中央体育館などの公共施設の移転・整備を着実に進めます。

保育所待機児童の解消については、昨年4月に「待機児童ゼロ」を達成しましたが、引き続き認可保育所の整備を進めます。また、国が平成27年度から施行予定の「子ども・子育て支援新制度」に向け、市民ニーズを踏まえた計画の策定など準備を進めます。

JR西宮名塩駅や生瀬駅で、バリアフリー化のためにエレベーターの設置などを進めます。高齢者の皆さんが、住み慣れた

地域で安心して暮らせるよう、地域包括ケアの一層の推進や特別養護老人ホーム等の計画的な施設整備を進めます。障害のある人の福祉については、生活介護事業所など拠点となる施設の整備や、児童発達支援センターの27年度の開設に向けた整備を進めます。

また、健康で長生きできるまちづくりのために、企業や大学等と連携しながら、スポーツの推進に努めます。

教育施設の整備では、新設する第46小学校について、28年度の開校に向けて工事に着手するほか、耐震化や教室不足の課題解決のため小学校2校で増築を行います。

都市型観光の推進や産業の振興については、市の多彩な資源や魅力を効果的に発信し、市民の暮らしと産業が結びつくことによる賑わい・活力の創造を目指します。

豊かな自然環境を次世代に引き継いでいくため、地球温暖化対策と併せ、再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの普及に向けた取り組みを、市民や企業と連携しながら進めます。

教育委員会行政方針

夢はぐくむ教育のまち

井ノ元教育委員長は、「夢はぐくむ教育のまち西宮」を基本理念とする教育委員会行政方針を表明しました。

教育委員会は、国における第2期教育振興基本計画の策定や教育委員会制度の改革、いじめ防止対策推進法への対応等、教育に係る情勢を的確に

捉え、市長と連携しながら迅速な施策展開に努めるとともに、引き続き学習者一人ひとりが学びに対する関心と意欲を高め、創造的な営みができるような教育を推進します。



井ノ元教育委員長

社会教育では、公民館の活用を促進するため、民間主催の生涯学習事業の利用にも途(みち)を開くとともに、文化財の保存と活用を図るために「神園古墳群第1号墳」を整備し、文化財学習の場とな

るよう公開します。学校教育では、西宮型小学校の学習をつなぎ、つまずきや苦手意識を解消することで確かな学力を育みます。また、グローバル化した社会に対応するため、小学校外国語活動や英語教育の充実などを進めます。家庭、地域と連携し、子どもたちとともに、命を大切に、他者の人権を守り、いじめや体罰を絶対に許さない学校づくりを進めます。

平成26年度

予算案をみる

市は、平成26年度の予算案をまとめたII左表・左下グラフ参照。現在開会中の3月定例市議会で審議されています。

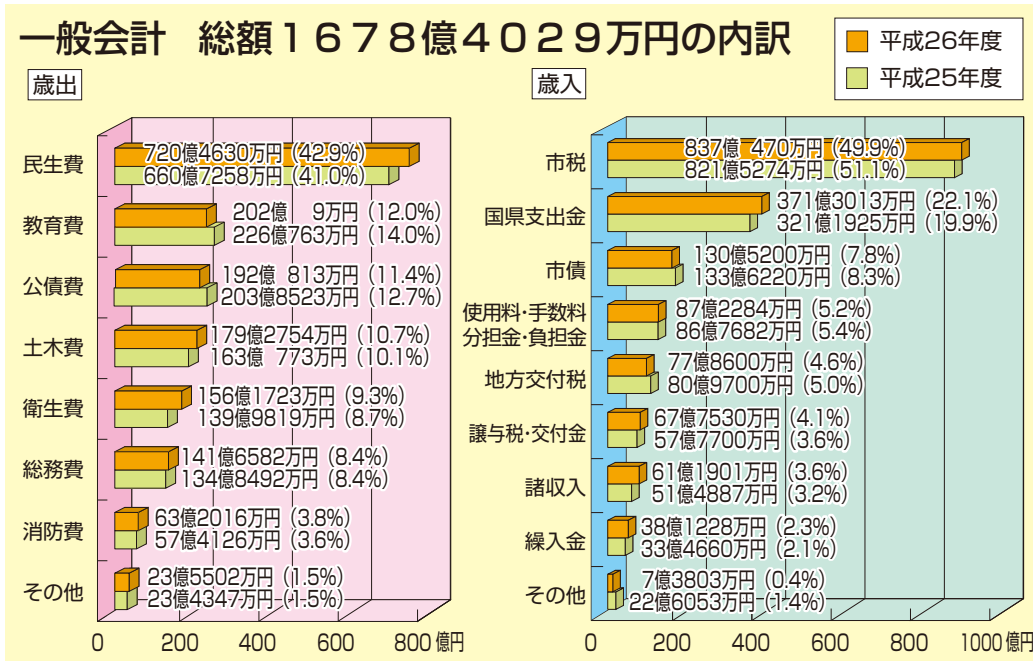
予算総額は3065億4805万円になり、前年度予算に比べ、225億9855万円(8.0%)の増額となりました。内訳は、一般会計1678億4029万円、特別会計876億2208万円、企業会計510億8568万円です。

また、一般・特別会計を合わせた26年度末における、基金残高(市の貯蓄)の見込みは242億8911万円、市債残高(市の借金)の見込みは1632億6893万円になっています。

平成26年度予算案の内訳

区分	予算額	前年度比
一般会計	1678億 4029万円	4.3%増
特別会計	876億 2208万円	8.1%増
企業会計	510億 8568万円	21.8%増
合計	3065億 4805万円	8.0%増

※一般会計のうち借換債を除く実質的な予算額は1674億8529万円(前年度比4.9%増)



て、消費税率の引き上げに対応した国の施策である臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金のほか、アサヒビール西宮工場跡地の用地取得に要する費用を計上するなど、総額で前年度予算に比べ、68億9928万円の増額となりました。

また、歳入では、市税や地方消費税交付金が増額となりますが、これに伴い地方交付税や臨時財政対策債は減額が見込まれるため、国や県の補助金を積極的に活用するなどにより財源確保に努め、なお不足する財源は財政・減債両基金を取り崩して収支の均衡を図りました。

被災地を引き続き支援

東日本大震災から3年、西宮の取り組み。東日本大震災の発生から3年を迎えます。市民の皆さんにおかれましては当日午後2時46分から1分間の黙とうをお願いします。本市は兵庫県阪神支援チームを結成

し、現在も宮城県女川町・南三陸町へ職員を中長期にわたり派遣するなど支援を行っています。被災地の一日も早い復興のため、引き続き支援していきます。

問合せは財政課(0798-35-3414)へ。

平成26年度

主な事業と施策を紹介

平成26年度行政方針に掲げる主な事業・施策について、第4次西宮市総合計画の5つの施策大綱「いきがい・つながり」「すこやか・はぐくみ」「あんしん・あんぜん」「うるおい・かいてき」「にぎわい・そうぞう」と「計画の推進」に沿って紹介します。

現在、同事業にかかる26年度予算案が3月定例市議会で審議されています。

いきがい・つながり

市民一人ひとりが輝いて生きるまち

◆(仮称)西宮市自治会等公益活動補償制度の創設 自治会等において、活動中の不慮

の事故に備える補償制度を創設し、自治会等の活動を支援する

◆地域自主管理集会施設整備補助事業 自治会等地域団体が行う地域自主管理集会施設の整備に対して工事費の一部を助成する

◆宮水学園拠点機能移転事業 拠点機能を、総合教育センターから交通至便なフレンテ西宮4階北側フロアに移転する



市民一人ひとりが生きがいを持つ輝けるまちを目指します

◆「(仮称)スポーツポード」の設立準備 市民のスポーツ活動を促進するため、大学や企業、地域のスポーツ関係者などと連携した共同体「(仮称)スポーツポード」の設立を準備する

すこやか・はぐくみ

子どもたちの笑顔があふれるまち

◆子ども・子育て支援新制度推進業務 平成27年度から始まる国の子ども・子育て支援新制度に向け、西宮市子ども・子育て支援事業計画の策定、各種基準を定める

◆保育所待機児童対策 民間保育所の新設や増築を行うほか、小規模保育施設を開設

し、定員増を図る

◆保育サービスの充実 深刻な虐待ケースに対応する保育士や、きめ細やかな相談に応じる子育てコンシェルジュを新たに配置する。また、公立保育所2園で一時預かり事業を実施し、民間保育所で休日保育事業を実施する



子どもたちの健やかな育ちをサポート

◆子育て支援拠点施設整備事業 在宅の子育て家庭を対象とした地域子育て支援拠点施設について、市内20カ所の開設を目指し、新たな施設を整備する

◆幼稚園における保護者負担の公私間格差是正 私立幼稚園に通う園児の保護者への就園奨励金について、低所得および多子世帯などの保護者の負担を一層軽減し、より多くの就園の選択肢を提供する

◆学校施設空調設備整備事業 学習環境改善のため、中学校の普通教室等への空調設備整備を平成26年度に完了し、小学校は、26年度、28年度の3年間で整備する

◆小学校校舎等増改築事業 上甲子園小学校および南甲子園小学校の新耐震基準不適合や教室不足を解消するため、校舎等の増改築を行う

あんしん・あんぜん

みんなが安心して暮らせる安全なまち



福祉・防災・都市整備等の施策を推進します

◆在宅高齢者生活支援事業の拡充 老老介護世帯における介護者の身体的・精神的負担を軽減するため、ホームヘルプサービス事業の対象者を拡充する

◆民間障害福祉施設建設補助事業 障害者等の地域生活を支える障害福祉サービス事業所の整備に補助を行う

◆西宮いきいき体操 高齢者の筋力アップを目的とする

「西宮いきいき体操」について、平成26年度内に全市展開できるよう普及啓発と体操実

害者・高齢障害者医療において、精神障害者保健福祉手帳2級所持者の助成内容を外来診療にまで拡充する

アサヒビール西宮工場跡地における公共施設整備事業

●アサヒビール西宮工場跡地において、中央病院や中央体育館、西宮消防署、多目的・防災公園、共用駐車場を整備するための用地を購入する

●新体育館について、大学や企業、スポーツ関係団体のほか、学識経験者などで構成する「(仮称)新体育館建設推進委員会」を設置し、新施設の基本構想等について検討する

●交通アクセスの機能強化等を図るため、歩行者・自転車によるアクセス経路や鉄道駅との連絡通路など、交通関係施設の調査や検討を行うほか、景観形成方針の検討を行う

うるおい・かいてき

水と緑ゆたかな美しいまち



環境と調和のとれた、市民の憩いの場を整備します

◆エコエネルギー設備導入促進補助事業、公共施設への太陽光発電設備・蓄電池整備事業 温室効果ガス排出削減のため、太陽光発電システムや家庭用燃料電池等の設置に対して補助を行う。公共施設に太陽光発電設備や災害等による停電に備えた蓄電池を整備する

◆西宮浜・御前浜公園整備事業 海辺の自然環境を保全しつつ、環境学習やスポーツ・レクリエーションなどに対応する公園の整備を進め、併せて民間活力の導入の検討も行う

◆西宮の景観PRパネル設置事業 JR西宮駅の改札口前の自由通路に、市民との協働により本市の代表的な景観写真を掲示する

◆JR西宮駅北側・阪急西宮北口駅における市有地有効活用検討事業 対象市有地における実現可能な有効活用策について、地域住民の意向を把握しながら具体的な検討を進める

にぎわい・そうぞう

人々が楽しく交流する元気なまち

◆観光情報発信拠点の設置 「まちたび博」の実績を踏まえ、阪急西宮北口駅構内に観光案内所を設置する

◆市内小売業逸品活動事業 市内全域の店舗を対象に、各店による創意工夫を凝らした「逸品」の販売を通じて、地域商業の活性化を図る

◆卸売市場の整備に向けた調査等事業 JR西宮駅前の卸売市場について、土地利用計画および施設計画案の作成などの事業推進を支援する



◆南海トラフ巨大地震等対策事業 備蓄品の拡充や備蓄倉庫の整備、緊急告知ラジオの購入費の助成、防災マップの全世帯への配布、災害時要援護者の支援対策、防災拠点運営マニュアルの作成のほか、避難訓練などを行う

◆阪神・淡路大震災20周年事業 震災経験の記録や今後の防災対策に関する記念誌および広報番組を作成する。また、追悼式を行う

◆消防力の充実・強化 瓦木消防署甲東分署の建て替えに向けた用地取得や消防車両の計画的な更新を行う

◆都市計画道路の整備 山手幹線(熊野工区)や競馬場線において、道路整備を行うための用地取得等を進める

◆通学路や歩道の安全対策 歩道の新設や改良、通学路の路肩のカラー舗装化を行い、歩行者などの安全対策に取り組む

◆阪急武庫川新駅周辺まちづくり構想策定業務 新駅設置について検討を行うとともに、周辺の都市基盤整備に向けたまちづくりの基本構想を策定する

計画の推進

◆行政評価の再構築検討事業 施策評価等について外部の観点を加えた評価を行い、施策の推進方法などを確認し、行政運営に生かす仕組みの検討を行う

◆公共施設マネジメント事業 取り組みの具体化を進めるとともに、公民館・市民館等の集約機能有する施設について、公共施設適正配置審議会での提言を受けて、市としての考え方をまとめる